

## 自動車リサイクル法に基づく平成30年度再資源化等の実績公表

平成17年1月1日に施行された自動車リサイクル法(使用済自動車再資源化等に関する法律)に基づき、ビー・エム・ダブリュ株式会社が平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)に実施した使用済自動車再資源化等の状況について、下表の通り、公表致します。  
引き続き、使用済自動車の再資源化等の確実かつ効率的な実施のために、一層の取り組みを推進して参ります。

## 平成30年度使用済自動車再資源化等の状況

シュレッダーダスト※1	再資源化の実施状況	① 引取重量 (ton)	4,829
		② 引取使用済自動車台数	18,839
		③ 委託全部利用(※2) 引取シュレッダーダスト相当重量 (ton)	176
		④ 委託全部利用 投入シュレッダーダスト相当重量 (ton)	176
		⑤ 委託全部利用投入解体自動車台数	694
		⑥ 基準適合施設(※3)投入重量 (ton)	4,829
		⑦ 基準適合施設排出残さ重量 (ton)	107
		⑧ 委託全部利用排出残さ重量 (ton)	4
		基準適合施設名称	※3 下記参照
	基準の遵守状況	基準再資源化率	70%以上
		実績再資源化率	97.8%
		再資源化率計算式 = $[(⑥ - ⑦) + (④ - ⑧)] \div (① + ③)$	
	収支の状況	[A] 払渡しを受けた再資源化等預託金額 (円)	244,116,271
[B] 再資源化等に要した費用の総額 (円)		195,850,302	
エアバック類 (ガス発生器)	再資源化の実施状況	① 引取重量 (kg)	24,544
		② 引取個数	140,958
		③ ②のうち、取り外し回収処理個数	36,845
		④ ②のうち、車上作動処理個数	104,113
		⑤ 引取使用済自動車台数	17,502
		⑥ ⑤のうち、取り外し回収処理台数	4,893
		⑦ ⑤のうち、車上作動処理台数	10,905
		⑧ ⑤のうち、一部取り外し回収、一部車上処理台数	1,704
		⑨ 再利用可能な重量(kg)	23,172
	基準の遵守状況	基準再資源化率	85%以上
		実績再資源化率	94.4%
		再資源化率計算式 = $⑨ \div ①$	
	収支の状況	[C] 払渡しを受けた再資源化等預託金額	90,502,329
[D] 再資源化等に要した費用の総額		73,175,884	
フロン類 (CFC12: 特定フロン、 HFC134a: 代替フロン)	破壊処理の実施状況	CFC引取重量 (kg)	29
		CFC引取台数	252
		HFC引取重量 (kg)	4,721
		HFC引取台数	18,293
	収支の状況	[E] 払渡しを受けた再資源化等預託金額	44,410,957
		[F] 破壊に要した費用の総額	32,555,985

合計	収支の状況	[G] 払渡を受けた再資源化等預託金額 [G]=[A]+[C]+[E]	379,029,557
		内 預託金利分	46,467,037
		[H] 再資源化等・破壊に要した費用の総額 [H]=[B]+[D]+[F]	301,582,171
		内 社内費用(人件費)	15,531,347
		内 社内費用(システム費)	20,717,789
[I] 収支合計 [I]=[G]-[H]	77,447,386		

参考 - 再資源化等の運営に要した関連費用を含めた収支

		自動車リサイクル促進センターの運営関連費用	12,951,679
		ASRリサイクル関連費用	5,598,997
		[J] 合計	18,550,676
		[K] 全体収支 [K]=[I]-[J]	58,896,710

※1.シュレッダーダスト: 破碎(シュレッダー)された廃車ガラから金属類を回収した後に残る樹脂、ウレタン、繊維、金属片等の複合物質。 ASR (Automobile Shredder Residue)

※2.全部利用: 解体業者が電炉・転炉等の事業者と協力して、シュレッダーダストを生じさせずに使用済自動車进行处理することにつき、主務大臣の認定を受けたもの。

※3.基準適合施設: 法に定める基準に適合した高水準のリサイクルが行える施設。当社では、他社と連携して豊通リサイクル株式会社 ASR再資源化事業部へ再資源化を委託しています。詳細は以下のリンクより、ホームページを参照ください。

[> 豊通リサイクル株式会社 ASR再資源化事業部 \(ホームページ リンク\)](#)